

■家庭における省エネのポイントとは

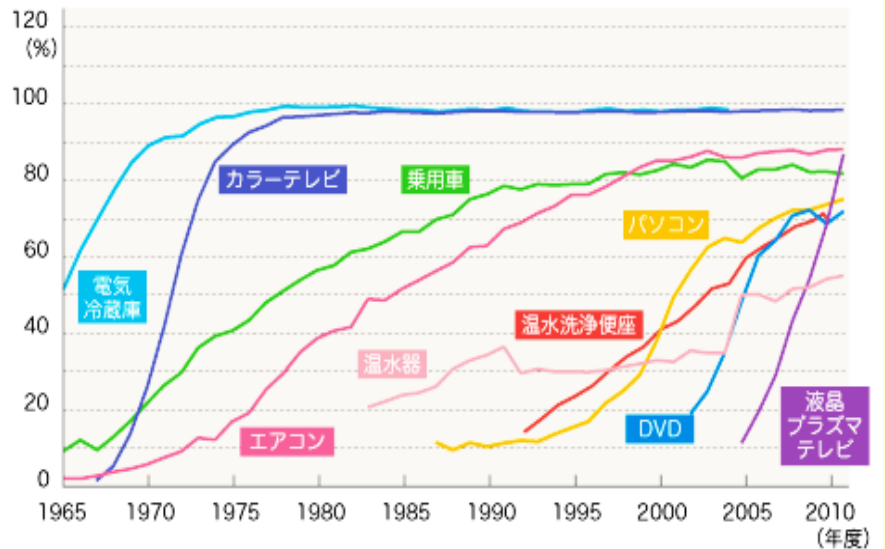
暮らしを支える電気製品を上手に使うことです。

経済成長と共に、家庭にさまざまな電気製品が登場したことにより、人々の暮らしの利便性は大きく向上しました。

さらに、日本は世界でもトップランナーの省エネ技術を誇っており、年々省エネ性に優れた電気製品が商品化されています。

これらの電気製品を上手に使うことで、便利さはそのままに、省エネな暮らしを実現することができます。

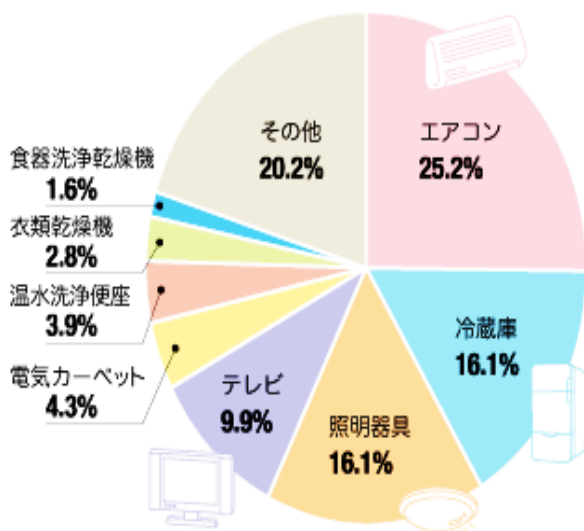
わが国の主要耐久消費財等の普及率



出所：内閣府消費動向調査(2011年3月) ※温水洗浄便座に暖房便座は含まれません。

家庭で電気がどのように使われているか知ることです。

家庭における消費電力量ウェイトの比較



出所：資源エネルギー庁 平成16年度 電力需給の概要 (平成15年度推定実績)
注：割合は四捨五入しているため、合計が100%とは合いません。

家庭においてどのような電気製品がどのような比率で使われているかを知ることによって、無理なく大きな省エネ効果を得ることができます。

左のグラフは家庭で使用されている電気製品の消費電力量の比率をまとめたものです。グラフの内、エアコン・冷蔵庫・照明器具・テレビで半分以上を占めていることが分かります。

家庭において、無理なく効率的な省エネを行うには、比率の大きい電気製品を知り、上手に使うことが大切です。

CO2削減とバイ・パナソニックの実現に貢献しましょう。

東京電力ホームページから抜粋

生活を見直し
出来るものから
始めてみましょう。



2011.10.27
パナソニック松愛会
横浜東支部 エコ担当 小川友通